

牧野成史

日置寿美子

北村哲郎

3人の演奏家による ジョイントコンサート

イタリア古典歌曲より
ボノンチーニ「讃えん憧れの君」他
シューベルト「魔王」
ブラームス「君の青い瞳」他
F. リスト 巡礼の年 第2年「イタリア」より
ペトラルカのソネット 第104番（ピアノ独奏）

司会進行：小川 素子

日時：2025年7月19日（土）14時30分開演

14時 開場

場所：聖グレゴリオの家 宗教音楽研究所

聖堂ロビー

入場料 3,500円 60名限定

お問い合わせ・チケットお申込み:

聖グレゴリオの家 〒203-0004 東久留米市氷川台2-7-12

TEL: 042-474-8915（月～金 9:00-17:00）FAX: 042-474-8832

E-mail: info@st-gregorio.or.jp



牧野 成史（まきの せいじ）テノール

武蔵野音楽大学、東京藝術大学別科修了、オーストリア国立モーツァルトウム音楽大学を経てスイス、バーゼル音楽大学、同大学院を最優秀で卒業。声楽と室内楽のディプロム並びに、国家演奏家資格を取得。

声楽を中村健、佐久間哲也、クルト ヴイドマー、エリザベート シュヴァルツコプフ、発声法を木下武久、山田実の諸氏に師事。1994年日本人として初めてザルツブルク大聖堂の専属歌手。1986年ハンブルク国立歌劇場と客演契約を結ぶ。89年南東バイエルン州立歌劇場、92年スイス、ビエンヌ市立歌劇場と専属契約を結び、

多数のオペラに出演。オラトリオ歌手として、ザルツブルク国際モーツァルト週間、アンスバッハ国際バッハ週間、国際ミルシュタット音楽祭、など多数の音楽祭に出演してきた。バロックから現代までの幅広いレパートリーをもち、特にウィーン古典派の解釈では、内外で高い評価を得ている。

現在、聖グレゴリオの家宗教音楽研究所理事、講師。

ポーランド・オポーレ司教管区教会音楽学校合唱指揮科客員教授。

所沢バッハアカデミー、横浜モーツァルトアカデミー 両合唱団、バッハ・アカデミー管弦楽団の音楽監督、常任指揮者として合唱活動並びに後進の指導にも積極的に取り組んでいる。

北村 哲朗（きたむら てつろう）バリトン

東京藝術大学声楽科、同大学院独唱科首席卒業。1989年、ドレスデン国立音楽大学へ留学。卒業と同時にゲルリッツ歌劇場と専属契約、「カルメン」エスカミーリョ役でデビュー。1993年ドイツ国家演奏家資格最優秀取得。1999年国立マリボー歌劇場において「椿姫」のジェルモン役、2002年3月、歌劇「有馬皇子」（若杉弘指揮）、2003年新国立劇場の歌劇「ナクス島のアリアドネ」ハレルキン役で出演。現在、国内外で、ソロ・リサイタル及びオペラ、宗教曲のソロなど、多岐にわたる演奏活動を展開。ここ数年、イェルク・デームス氏とのリーダー・アーベントを精力的に行う。2006年6月、デームス氏作曲オペラ「痴人と死」のタイトルロールを歌い、クラウディオ役でウィーンデビュー。同時に同曲のCDをデムジカよりリリース。同年、新宿文化国際交流財団主催の世界の7人のピアニストによるモーツァルト・ソナタ全曲チクルス・コンサートのイェルク・デームス氏の舞台後半にて、シューベルト歌曲「白鳥の歌」で共演。ロシアのピアニスト、エフゲニー・ザラフィアンツ氏と共に国境を越えたドイツ・リートシリーズを開始。同氏とSlavaレーベルよりシューベルト歌曲「冬の旅」をリリース。他にルーチスより「ヴェルディ・デュエット集」、マラー「子供の不思議な角笛」、フォンテックよりW. リーガー氏とのシューマン「詩人の恋」「ロマンティッシュ・コンサート」をリリース。藤沼昭彦、中山悌一、L. ベルタニョリオ、K. ヴイドマー、H. ホッター、T. アダム各氏より薫陶を受ける。現在、二期会会員。

日置 寿美子（ひおき すみこ）ピアノ

幼少より桐朋学園大学附属子供のための音楽教室に学び、桐朋女子高校音楽科、桐朋学園大学音楽学部卒業後、インディアナ大学音楽学部アーティストディプロマコースを優等賞と名誉学生称号を得て卒業。ピアノを大島正泰、G・シェボック各氏ほかに師事。J.シュタルケル、J.ギンゴールド氏ほかのクラスで、多くの伴奏を務める。

第46回日本音楽コンクールピアノ部門第2位入賞。第19回ブダペスト国際音楽コンクールピアノ部門《リスト＝バルトーク》にてブダペスト市特別賞受賞。以来、毎日新聞社、日本ショパン協会、サンパウロ総領事館主催のほか、クリチバ市、マリンガ市、サンパウロ市、ブルメナウ市、また東京にてリサイタル開催多数。協奏曲においては、東京フィルハーモニー交響楽団、インディアナ大学オーケストラ、新日本フィルハーモニー交響楽団、パラナ州立交響楽団ほかと共演。室内楽では、これまでに木越洋（Vc）ワトソン・クリス（Vc）藤原浜雄（Vn）アンドレス・カルドネス（Vn）パスカール・ボンズ（Pc）石内聡明（Pc）オルガ・キウン（Pf）松岡淳（Pf）各氏ほか多数と共演。

現在、洗足学園音楽大学・同大学院講師。全日本ピアノ指導者協会正会員、日本ピアノ教育連盟会員、演奏表現学会運営委員。全日本学生音楽コンクール、日本バッハコンクール全国大会、PTNAピアノコンペティションをはじめとして、多くのコンクールで審査を務めている。また、PTNAピアノ曲事典等を通じて、ヴィラ＝ロボス、セイシャス、浅川春男等の作品の普及にも努めている。

聖グレゴリオの家は、1979年に独立宗教法人として故グレオン・ゴールドマン神父（フランシスコ会）によって設立され、祈り、研究、教育という3本の柱から成り立っています。その目的は、祈り、典礼を祝いながら、教会音楽の研究、保存と普及、教育を行うことにあります。

【聖グレゴリオの家賛助会】故グレオン・ゴールドマン神父によって創設された当研究所は、神父の母国ドイツや諸外国から物心両面の支援に頼って参りました。しかしながらグレオン神父の帰天と援助をしてくださった方の高齢化、世代交代に伴い、その支援は必然的に細りつつあります。海外の支援に頼るのではなく日本社会の中で聖グレゴリオの家の活動を支えていただくために賛助会は2009年に発足しました。